

特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会 会報

第8号 '07.8.25

特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会
理事長：依田浩敏

総会報告 依田浩敏理事長

去る5月26日に通常総会が開催され、新役員体制で平成19年度が始動いたしました。設立5年目となる今年度の事業実施の方針は、「多くの会員が参加でき、かつ収益に結びつく独自事業を実施し、運営予算の確保に努め、積極的に本協会の活動を展開すること。また、支所を活用するなどして会員間の情報交換を密にし、会員の活動に対する協力体制を整えること」とします。今年度の事業は次にあげるとおりです。



- 1 環境学習・教育の支援（小中高校の総合的な学習や市民団体への講師派遣）
- 2 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト「建花寺川にホテルをよぼう」
- 3 環境教育・環境学習指導者養成セミナー開催
- 4 環境カウンセラー資格取得支援講座開催
- 5 社会検定試験（eco 検定）受験対策講座開催
- 6 環境省の「我が家の環境大臣事業」への参画
- 7 ホームページの拡充
- 8 会報の発行
- 9 福岡県地球温暖化防止活動推進員の防止活動、組織運営に関する助言・指導及び防止技術の支援
- 10 福岡地域子どもエコクラブ活動推進・支援
- 11 環境省 一村一品運動の支援
- 12 北九州市環境ミュージアムにおける「環境の日」事業「無料開放 未来ホテルデー」ブース出展

「環境カウンセラー資格取得支援講座」や「社会検定試験（eco 検定）受験対策講座」の開催といった収益に結びつく新事業、「福岡地域子どもエコクラブ活動推進・支援」、「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」の実施など、今まで以上に会員の皆様の積極的な参加をよろしくお願いいたします。

平成19年度通常総会 議事報告

去る5月26日（土）、北九州市環境ミュージアムにおいて平成19年度通常総会を開催しました。遅くなりましたがその概要を報告します。

- 1 日時 平成19年5月26日（土） 14:00～16:30
- 2 場所 北九州市環境ミュージアム
- 3 出席者数 社員総数30名のうち24名出席（うち委任状提出者10名）
- 4 議事の経過と議決結果

依田理事長挨拶の後、議長に河野壽行氏、議事録署名人に依田浩敏氏、武藤博昭氏、書記に北森成治氏を選出し議案審議に入った。

(1) 第1号議案 平成18年度事業報告に関する件

依田理事長より本協会の認知度を高める多くの事業が行われたが収益に結びつく事業にまで至っていないと報告された後、各事業について担当理事より報告があった。議長はその承認を諮り原案通り承認された。

(2) 第2号議案 平成18年度決算報告に関する件

北森理事より決算報告があった。議長はその承認を諮り原案通り承認された。

(3) 第3号議案 平成18年度監査報告に関する件

田中監事、吉田監事欠席のため代わって北森理事より監査報告があった。議長はその承認を諮り原案通り承認された。

(4) 第4号議案 役員を選任（案）に関する件

依田理事長より役員を選任（案）について提案された。理事長：依田浩敏、副理事長：北森成治、理事：植木康太、角谷忠彦、中尾明子、武藤博昭、森本美鈴、監事：田中豊、日高哲明

議長はその承認を諮り原案通り承認された。また被選任者はそれぞれ就任を承諾した。

(5) 第5号議案 平成19年度事業計画（案）及び第6号議案 平成19年度収支予算（案）に関する件

依田理事長より説明があった。議長はその承認を諮り原案通り承認された。



(6) 第7号議案 定款の変更（北九州支所）に関する件

会員の退会に伴い北九州支所の所在地を北九州市八幡西区浅川学園台四丁目3番13号への移転が提案された。議長はその承認を諮り原案通り承認された。

5 その他

森本美鈴理事より来年3月に北九州市において「こどもエコクラブ全国フェスティバル」が開催される。ついては会員は「こどもエコクラブ応援団」に積極的に登録して「こどもエコクラブ」の活動を支援して欲しいと要請があった。

以上をもって議案全部の審議が終了したので議長は閉会を宣言し、16時30分に閉会した。

6 講演会の開催

通常総会に先立ち一般市民の参加も得て「環の学びの工房」諸藤美代子氏を講師に迎え約1時間の講演会が開催された。

「市民の心に届ける環境教育の手法」と題して氏の豊富な経験とワークショップを取り入れながらの講演は会員の今後の活動に大いに参考になるものと思われた。



7月26日の理事会にて支所に関する細則が決まりました。当面、福岡支所は福岡市、北九州支所は北九州市に居住もしくは勤務の会員が構成員となります。

特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会細則

特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会 定款第56条（この定款の施行につ

いて必要な細則は、理事会の議決を得て、理事長がこれを定める。）に基づき次のとおり細則を定める。（一部抜粋）（支所の設置）

第6条 定款の定めるところに従い、本部の補助機関として地域的に必要な情報交換並びに事業を行うため支所を設置することができる。

2 支所は福岡支所並びに北九州支所とする。

3 支所はその地域に住所または勤務先を有する会員をもって構成する。ただし、地域外の会員の登録は拒まない。

4 支所の所在地は原則として、支所長の住所とする。

5 支所の設置及び廃止は理事会の承認を得るものとする。また、その活動は理事会へ報告する。

（支所の役員）

第7条 支所には次の役員を置く。支所長1名、支所幹事若干名。

2 支所長は支所を代表して会務を処理する。

3 支所幹事は支所長を補佐して会務に当る。

4 支所長に事故ある時は、支所長があらかじめ定めた支所幹事中の1名がその職務を代行する。

（支所の役員を選任）

第8条 支所幹事は、支所構成員（正会員）の中から選任する。

2 支所長は、支所幹事の互選とし、支部役員会の推薦を経て理事長が委嘱する。

この細則は平成19年7月26日から施行する。

支所だより

【北九州支所】

北九州支所長 就任挨拶

北九州所 角谷 忠彦

平成19年4月28日（土）、ふくおか環境カウンセラー協会・北九州支所の会合が環境ミュージアムで開催され、席上謀らずも私が北九州支所長の役割を担うこととなりました。

私自身は、本協会に入会してまだ日が浅く、協会のいろんな面での実状を充分把握していないため、皆さんにご迷惑を架けることにならないかと、不安感を持っておりますが、少しでもお世話が出来ればと思ひ引き受けた次第です。

現在 協会には、福岡支所と北九州支所があり、夫々の地域との連携を円滑に取進める事を目標としており、その為には、先ず支所の会員同士の日頃からのコミュニケーションをよくしておく事が肝要であると感じております。

会員同士の連携が巧くいけば、自ずと地域との連携も良くなるものと思われま

皆さん方のご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



福岡県温暖化防止活動推進員活動報告

福岡県では「地球温暖化対策の推進に関する法律」第23項1項に基づき、知事より委嘱を受けた地球温暖化防止活動推進員が活動しています。平成19年度、新たに県知事より委嘱された推進員が活動を開始しました。

今年の主な事業は

1. 研修会 ①地区ごとの講座とワークショップ②福岡県地球温暖化防止シンポジウム（田川市）③9月の第三回研修会
2. エコライフ学習会（県下4地区）参加
3. 出身市町村の情報収集並びにパートナーシップ作り→温暖化防止地域協議会づくり
4. 県下各ブロックにおける啓発事業実施
などとなっています。

（文責：植木）

ECU（環境カウンセラー全国連合会）・九州のカウンセラー協会だより No3

（今回は NPO 法人環境カウンセリング協会長崎、理事長 宮原和明氏にお願いしました）

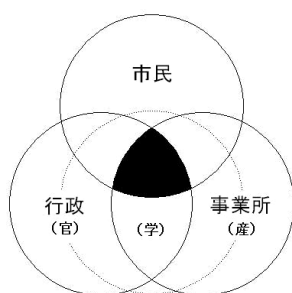
環境のまちづくりは行政と市民の協働のしくみづくり

NPO 法人 環境カウンセリング協会長崎 理事長 宮原 和明

○ これからの社会は行政、事業所、市民のパートナーシップと市民力が求められる。

1992 年にブラジルのリオデジャネイロで国連の環境開発に関する会議（サミット）でアジェンダ 21 が採択されました。アジェンダ 21 は持続可能な発展、つまり持続可能な地域社会づくりを担う主役は自治体であると述べています。

いま自治体は地域の特色を生かしながら、創造的かつ多種多様な施策・事業を戦略的に展開することを求められています。持続可能な地域社会づくりの過程には市民の主体的な参画によるパートナーシップ（協働）も不可欠になってきます。どの分野でも市民が行政に参画できる仕組みづくりが環境負荷の少ない環境のまちづくりでは重要になってくるのです。（持続可能な社会とは、環境保全と経済の発展が地球規模で両立する社会）



また良きパートナーシップづくりとは行政、事業所、市民（NPO、NGO 等）といった異なるセクターが一緒になって何かをやる（協働）によりシナジー（相乗効果）をあげることです。そのためには、各セクターの立場を理解し、違いを活かしつつ相互理解を深めることが重要になります。

つまり左図の行政（官）、事業所（産）の中間に（学）が入るイメージですが、これらのセクターでありながら、同時にわれわれは市民セクターなのです。これからの持続可能な自然共生型社会をイメージするとき、我々はいま図の下方のセクターに属しながら、市民セクターとして他のセクターとのパートナーシップを成熟させることが必要なのです。

私は 2003 年から長崎伝習所環境ネットワークながさき塾の代表として持続可能な地域社会をつくる「日本の環境首都コンテスト」（主幹事団体 NPO 法人 環境市民）の全国ネットワーク団体としても活動しています。参加自治体の行政と市民の協働の仕組みづくりの先進事例が毎年数多く出現し、参加自治体間の切磋琢磨が見られ、協働の仕組みづくりは深化しています。また私自身も他のネットワーク団体の活動に触発され、持続可能な地域社会づくりに日々努力しているところです。また 2006 年には長崎県地球温暖化防止対策行動計画

策定会議に参加し、長崎県ストップ温暖化レインボプランのまとめ役の1人としてかかわりました。これは、行政も1セクターとして参加してもらい、行政、事業所、市民の協働を加速させるためバックキャストとワークショップ方式でプランをまとめました。各セクターみんなでまとめた規範であり、行動につなげてもらうという主旨です。この方式がうまくいくのかどうか、試行錯誤しながら進んでいるところです。

この6月からは本組織の理事長に就任させられ（？）長崎県地球温暖化防止活動推進センターとしても100人の活動推進員のスキルアップや温暖化防止の普及・啓発活動に取り組んでいます。

最後に貴協会と共にだれでも自分の色で参加できる脱温暖化社会に向けて協働の仕組みやネットワークづくりを深化させ挑戦していきましょう。

NPO 法人環境カウンセリング協会長崎の活動風景写真



（三次元環境紙芝居の上演）（ジャカルタにて環境教育活動）（温暖化防止推進員の研修）

活動報告

【未来ホテルデー・実施報告】

北九州支所 角谷 忠彦

去る6月2～3日、北九州市環境ミュージアムで「環境の日」のイベントとして“無料開放・未来ホテルデー”が実施され、本協会北九州支所の取り組みとしましてブース出展しました。

出展の内容は、身近な樹木を通じた環境保護の啓発をねらいとして、葉っぱで樹木を当てよう（いちょう、もみじ など10種類）、匂いで樹木を当てよう（松 など4種類）、葉っぱや匂いで身近な樹木名を当ててもらおう方法で実施しました。

結果は、自宅の庭にもある様な身近な樹木、更には樹木の匂いが出展ブース周辺を漂い、癒しの効果も有ったのか、子供達、保護者共に大変好評でした。

今回のイベントに参加・協力頂いた北九州支所の皆さん、どうも有難う御座いました。



トピックス

子どもエコクラブ応援団になりましょう！

～ひとり・ークラブのこどもエコクラブをつくりましょう～

～～ まず、応援団になりましょう ～～

環境カウンセラーの大きな活動のひとつに、地域で子どもたちの環境活動の支援を行うことがあります。

こどもエコクラブは平成7年に環境省の呼びかけで始まり、平成18年度、全国で4,819クラブ、137,532人、福岡県は220クラブ、5,318人の子どもたちが環境活動を行いました。

一年に一度の全国フェスティバルが、平成19年度は北九州市で行われることになりました。福岡県下の子どもたちが、全国から集まったたくさんのお友達と一緒に会し、交流し、学びあい、未来を語り合えるよう、この全国フェスティバルを出会いの場にしませんか。（平成20年3月29,30日、北九州市小倉駅前西日本総合展示場で開催）

そのためには、まず、私たち環境カウンセラーが、「こどもエコクラブ応援団」となって、自分の地域にひとつでもこどもエコクラブをつくり、積極的に支援していきましょう。

現在、福岡県内では11人が応援団として登録されています。環境カウンセラーだけでなく、地球温暖化防止推進員や各種環境ボランティアなど、環境活動や環境分野で活躍の皆さんのご支援を期待しています

「こどもエコクラブの活動を応援してくれる人がいないかな・・・」

「環境について専門的な話を聞いてみたいな？」

このような悩みをお持ちのサポーターさんやコーディネーターさんがたくさんいます。こどもエコクラブ応援団は、ボランティアで、そのようなクラブの相談にのったり、支援をする心強い集まりです。



環境に関する専門知識を持っている方



子どもたちとの環境活動に日頃から関わっている方

行政の推薦が必要です。住居地域の環境関連部局を通して日本環境協会へ申し込みます。推薦のご相談については福岡県の場合は森本（北九州市）にご連絡ください。

こどもエコクラブを作るときは、

- 1 こどもを集める。
（または既にある何らかのこども団体に登録を呼びかける・・・子ども会など）
- 2 市町村の窓口を通じて、全国事務局に登録する。
（保護者がサポーターとなる、いない時は自分でもよい）
- 3 登録した子どもたちを集め、まず何かをする。
（山登り、ごみ拾い、環境ミュージアム見学など）
- 4 その時に、これからしたいことを述べ合い、今後の活動計画を立てる。
（次は〇〇をしようや・・・）
- 5 計画したことを実行する。

（楽しく一体験型で、無理なく一毎月でなくてもいい、年に1，2回でも可）

あくまでも、こども達が活動するクラブです。

自主性を損なうことなく、サポートしてあげてください。

・・・森本美鈴 でした

会員自己紹介

（名簿の順に4人ずつ紹介してゆきます。今回は3人）

小谷 茂明(こたに しげあき) です。

筑紫野市

筑紫野市の生涯学習ボランティア活動として、小学生対象の野外体験活動「里山ウオーキング」の運営を担当しています。毎月1回土曜日に一日中巡り歩き、仲間、地域の皆さんや自然に触れ合い、遊びながらも様々な気づきがあります。毎回、支援スタッフを含む約40名の笑顔にひかれ今年4年目で、天拝山に棲み付くカエル一匹（名前：ゴロウ）に会えるのも楽しみ



にして活動しています。

今後、環境カウンセラー協会の皆様から様々なことを学び得ることを確信しています。また、微力ですがお手伝いできることには参加させていただきたいと期待しています。

よろしくお願い致します。

（編集長よりのコメント）

都会と思っていた筑紫野の町にもこのような活動があるとは・・・。

日本全国に活動が広まりますように・・・！

角谷 忠彦 (すみや ただひこ) です。

北九州市八幡西区

旧中華民国（台湾）生まれで、まもなく古稀を迎える私ですが、現状に満足することなく、常にチャレンジする事を心掛けております。



当面の目標は、競争率3～4倍の「東京マラソン」に運よく当たれば、出場して大江戸の名所を約6時間かけて駆け巡りたいと考えております。



さて、企業戦士と言われながら働き続けて来た現役時代（化学工業）に得られた技術・知識・経験などを活かして何らかの形で社会に役立ちたいとの思いから、現在の環境学習の支援活動を始めた。小学生の高学年を主体に、更に地域では主婦等を対象として環境に関する話を実施しており、少しずつではあるが軌道に乗ってきた。

支援活動を始めた。小学生の高学年を主体に、更に地域では主婦等を対象として環境に関する話を実施しており、少しずつではあるが軌道に乗ってきた。

そして 次の挑戦を何に求めて行くか、種々模索して今日この頃である。

空 かおり（そら かおり）です。

福岡市博多区

はじめまして、福岡市内のコンサルタント会社に勤務し、河川や森林に関する環境教育のコーディネーターをしています。週末になると、環境保全のボランティアグループの仲間とともに、山だ、川だ、海だと飛び回り、勉強会やイベントを行っています。

環境カウンセラー一年生です。勉強しながら、社会貢献できるような技術を身につけたいと思っています。

皆様、ご指導のほどよろしく御願います。



事務局だより

県 NPO ボランティアセンターに借りているロッカーの中に「環境カウンセラー制度 10 周年及び環境カウンセラー全国連合会設立 5 周年記念誌」(NPO 法人環境カウンセラー連合会発行)を入れていますのでご閲覧ください 武藤

◆ 会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。平成 19 年度会費未納の方は至急納入してください。振込先：郵便貯金総合通帳「ぱるる」

記号 17410 番号：75552581 名前：福岡環境カウンセラー協会

(なお、勝手に元会員さんにも会報を送らせて戴きました。悪しからず。)

◆ 準会員 並びに 賛助会員 募集

準会員：この法人の目的に賛同する個人 会費（1口2千円）

賛助会員：この法人の目的に賛同し、支援をいただける団体 会費（1口1万円）

学会会員：この法人の目的に賛同し、環境に関する学識経験者 会費なし

身近にいらっしゃる該当者に声かけを！ 定款等は事務局よりお届けします。

◆ ホームページ及びメーリングリストの再再開

ホームページの掲示板、改良して再開しました。どんどん情報発信してください。また、メーリングリストも稼動中！会員名簿にアドレス載せている方で、メールが届いていない会員さんは連絡下さい。(k.uekil@crocus.ocn.ne.jp)

また、会員名簿の変更・ミスは早めに連絡下さい。特によろしくお願い致します。

(文責：植木)

特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会 会報 第8号

発行日 平成19年8月1日

発行 特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会

発行責任者： 依田 浩敏 編集責任者： 植木 康太

事務局：武藤 博昭 〒818-0110 太宰府市御笠 1-6-18

TEL/FAX 092-925-5344

<http://fukkan.sa-ba.jp/>